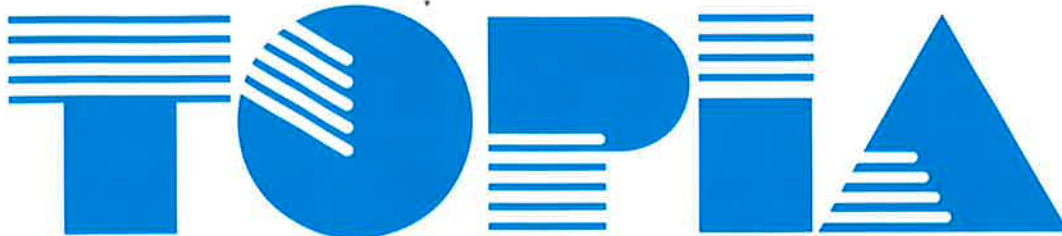


第67号



2016.09



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL：088－656－3303



出場者と審査員の方々



最優秀賞を受賞された林琳さん

7月10日（日）、「2016年度 外国人による徳島県日本語弁論大会」が開催され、4カ国11名の方々が出場され熱弁をふるいました。例年同様、出場者の方たちのスピーチはどれも素晴らしく、会場に来られた180名の聴衆の方たちは熱心に耳を傾けておられました。弁論大会終了後の交流会では、出場者の出身国の歌の披露もあり、出場者と来場者の方たちが一緒に楽しいひとときを過ごしました。

今大会で最優秀賞を受賞されたのは、徳島大学大学院の林 琳（リン リン）さんです。

最優秀賞受賞スピーチ

「日本で母になって」

林 琳（リン リン）

み

なさん、こんにちは。林琳と申します。去年の5月に子供が生まれて、私は母になりました。この会場にはお母さんもたくさんいらっしゃるでしょう。もちろん、お母さんにならない男性の方も。でもみなさんお母さんがいて、私達が

ここにいます。その気持ちをもってどうぞ私の話を聞いてください。今日は、日本で母親になって考えたことについてお話をしたいと思います。よろしくおねがいします。

まず、産後の過ごし方ですが、日本と中国には様々

な違いがあることに気づきました。

私が出産した時、母が日本に来て世話をしてくれました。私の生まれ育った中国の北の地方には、漢方の考え方で、産後1カ月の習わしがあります。例えば、「外出しない」「長時間本を読まない」「風に当たらない」「冷たい物を口にしない」など、ほかに、水に触ってはいけないため、1カ月もシャワーやシャンプーをしない人も珍しくありません。一方日本では産後1週間ほど病院で過ごしてから、元の生活に戻るのが普通です。私は出産の翌日からシャワーを浴びました。病院食には冷たいサラダやヨーグルトも付いていました。これには母は驚いて、「食べたらだめ、お乳が出なくなる!」と言って、病院食の冷たいものは全部母が食べてしまいました。このように、母の言う中国式の産後の過ごし方は頭の片隅に、郷に入っては郷に従って、産後生活を快適に過ごせました。



熱弁中の林琳さん

次に子育てについてです。日本に来る前、日本の女性は結婚すると専業主婦になるんだと私は思っていました。実は日本では今、子供を保育園に預けて仕事に出る女性が増えています。つい最近になって、育児を手伝う「イクメン」も増えてきましたが、やはり、基本的に母親が子供の面倒を見るのです。中国はどうでしょうか。中国は男女共働きが主流です。しかし、2歳未満の子供を預かってくれる保育園はないため、ベビーシッターを雇ったり、祖父母に育ててもらったりするのが一般的です。我が家では、母が中国に帰った後、主人と2人での育児生活が始まりました。私は博士課程の研究を続けるために、保育園の申し込みをしましたが、結果は「待機」でした。待機期間中、徳島ファミリーサポートセンターの保育援助を受けることになり、安心して子どもを預けられました。それに、子どもを通して、新しい知り合いもできて、本当にありがたかったです。

妊娠がわかってから今まで私は、「日本社会に守られている」と感じました。例えば妊娠初期に配付されたこちらの「マタニティマーク」と「駐車場利用証」が大変助かりました。また、検診は無料で受けられた上に、分娩にあたっては補助金ももらえました。とても温かく、心強い支援だと思いました。さらに、たくさんの見ず知らずの方の心遣いに出会いました。スーパーで店員さんが私のために商品をレジ袋に詰めて車まで運んでくれて一言、「大変だと思いますが頑張ってくださいね」、マンションの隣のおばさんは会うたびに「いつでもええけん、呼んでな、すぐ飛んでいくわ」と声掛けが。こうして私は、「徳島で安心して子どもを生んで育てられる、幸せだな」と思いました。

これからも私は徳島にずっと住んで、この社会の一員として生きていこうと思っています。そして日本人の夫と一緒に、日本文化と中国文化の両方が分かる子育てをしていきたいと考えています。将来、私たちのような国際結婚の間で育つ子供たちが、徳島と世界をつなげるグローバルな人材として活躍してくれることを望みます。これは私が母親になって子育てをして初めて持った夢です。みなさんお願いします。多様な文化的背景を持つ人

を受け入れ、お互いに理解し合い、助け合っていくなかで、みんなで子育てをしながら、暮らしやすい徳島にしていくこと。これこそ、徳島に重要なことと言えるのではないのでしょうか。



TOPIA 夏のイベント報告

日本語指導ボランティアスキルアップ講座

7月2日(土) 13:00 から 16:30 まで、「対話を重視した日本語活動って」～やってみよう・つくってみよう～をテーマに日本語支援に携わる方を対象に講座を開催しました。昨年度の講座で行った同様のテーマが大変好評であったこと、また、さらに実践的な手法を知りたいとのリクエストがあったことから、昨年度に引き続き開催したものです。

講師には、横浜国立大学非常勤講師の矢部まゆみ先生と、四国大学准教授の元木佳江先生(元トピア講師)をお招きし、ワークショップを中心に受講者の方々に実践的なゲームや活動を体験していただきました。

県内の日本語支援は多くのボランティアの方々によって支えられています。今後の活動に是非とも生かしていただき楽しい日本語支援を行っていただければと思います。



夏休み子ども日本語教室

8月4日朝10時前、夏休み子ども日本語教室最終日のトピアのロビーには、早くも数名の子どもたちがいました。みんなニコニコとしています。初日に緊張した様子で、保護者と一緒にいたのが嘘のように10時半からの開始が待ち遠しいといった感じです。

今年で12回目となる夏休み子ども日本語教室が、7月22日(金)から8月4日(木)の間に、8日間開催され、外国にルーツを持つ10カ国の小学生20名、中学生9名、計29名が参加しました。スタッフは、21名の参加でしたが、去年に引き続き、今年も大学生や高校生の方々が多数子どもたちの支援に携わってくださり、1対1の細やかな支援で、夏休みの宿題等をすることができました。

何よりも全体学習で、みんなで一緒に言葉遊びをしたり、折り紙を折ったり、ひとつの地図を完成させたりすることで、一体感が生まれ、回を追うごとに自分らしさを発揮し、新しく知り合った人と前からの友達のようにじゃれ合う姿が見られるようになりました。読み聞かせでは、内容を深く読み取り、発表してくれた子どももいて、日本語学習の重要性を改めて感じました。

また、各自の思いや夢を発表したり、絵日記に書いたりしましたが、「科学者」「漫画家」「警察官」「英語の先生」等とそれぞれに多種多様な未来を描いていました。その夢に向かって、これからの日本での生活を充実したものにしてくれたらと思います。

そして、自分と同じように頑張っている仲間がいることを知ったことで、2学期からも、自信をもって活動していってほしいと思います。(JTMとくしま日本語ネットワーク筆)



夏休み子ども日本語教室の様子

中高校生夏期英語セミナー

8月12日(金)から14日(日)まで、今年で26回目を迎えた中高校生夏期英語セミナーを開催しました。このセミナーは英語でのコミュニケーションを通して外国への一層の理解を深め、これからの国際化を担う青少年の育成を図ることを目的としています。今回は中高校生33名と外国語指導助手(ALT)38名が参加しました。

最初は意思疎通が難しく、互いに戸惑う事もあるように見受けられました。しかし、それらの不安も一緒に活動をし、交流することですぐに消えたようでした。

2泊3日という短い期間でしたが、参加者達は貴重な体験を得ることができ、国際理解について学ぶことができました。



英語セミナーの様子

あらそわ連

今年も8月12日(金)から15日(月)まで徳島市は阿波おどり一色に包まれました。天候にも恵まれた8月14日(日)に総勢21カ国270名の大所帯で市内演舞場に躍り込みました。沢山の方たちが阿波おどりの熱気に包まれ、「ヤットサー、ヤットサー」と大きな声で掛け声をかけながら二拍子のリズムにあわせて阿波おどりを満喫しました。今年で37年目を迎えた「あらそわ連」は争いごとのない世界を願って誕生した連です。今年も、たくさんのご参加ありがとうございました。



躍り込む前にみんなで集合写真

離任、着任された徳島県国際交流員の皆さん

離任あいさつ

ジェニファー・タニカワ

8

月4日をもちまして、徳島県の国際交流員として任期を満了いたしました。徳島の皆様にはこの3年間大変お世話になりました。

3年前の6月に配属先が徳島県だというメールが届いた日を未だに鮮明に覚えています。当時は配属先の発表が待ち遠しく、毎日メールをチェックしていました。そんな中、ある朝、その待ちに待ったメールがインボックスに届いていて、ドキドキしながらメールを開いたのを覚えています。そこに書いてあったのは「徳島県」でした。最初に頭を過ぎったのは「どこ?」でした。私はすぐさまグーグルで検索をしました。その結果にはビックリでした、「島の中の島?」。そもそも徳島、まして、四国の存在を知らなかった私にとっては相当大きな衝撃が走りました。でも色々と調べていくにつれ、非常に興味が湧いてきて、楽しみになってきました。そして、その日から早くも3年以上が経ちます。私は徳島で働けたことを心の底から誇りに思い、本当に良かったと思っています。徳島は私にとって故郷の一つになりました。

国際交流員として、翻訳、英語チェック、通訳など様々な業務に携わってきて、仕事を通し多くの人と出会い、たくさんの貴重な経験もさせていただきました。関わった仕事は全て未だに覚えていますし、いろんなことを学びました。本当に多彩な業務に携わらせていただき、非常に刺激的な仕事でしたし、実際に私が翻訳したものやチェックした資料がパンフレットなどになり私の仕事が形になって残るのでやりがいのある仕事でもありました。色々な通訳やアテンド業務の中、特に印象に残っているのは最初のアテンド業務でした。シンガポールからの雑誌の記者とカメラマンに同行し、徳島県内の様々なところで取材のお手伝いをさせていただき、非常に勉強になりました。それ以外にも関西地域振興財団の「Kansai Window TV」の企画で作った徳島のPRビデオの作業も非常に印象的でした。台本から訪問先まで全て決めて、撮影に挑みました。撮影は全て関西地域振興財団の方がくださり、私は人生初のナビゲーター役を務めることになり、非常に良い経験をさせていただきました(興味がある方はこちらからビデオをご覧ください:<http://www.kansai.gr.jp/en/movie/2015/03/non-japanese-residents-introduce-the-charms-of-kansai3.html>)。もちろん、毎年あらそわ連として阿波踊りに参加させていただいたことも忘れません。今では阿波踊りに魅了され、鳴り物の音を聞くだけで、無性に踊りたくなります。残念ながら今年は参加できないのですが、どこへ行っても阿波踊りは大好きです。

徳島ではプライベートでも仕事でも非常に充実した毎日を送ることができました。これは全て徳島の方々のおかげです。様々な方に「徳島での一番の思い出は何でしたか」と聞かれましたが、一番の思い出というよりか、私にとって最大の宝物は徳島で出会った皆様との思い出です。色々と振り返って思ったことは「この人たちにもう会えなくなるのは嫌だ」です。徳島のことを振り返るたびに皆さんの温かい笑顔が浮かび、嬉しい反面、ちょっぴり寂しくも感じています。本当に皆様に会えたこと、一緒に3年間も過ごせたことに心から感謝しています。一人ひとりとの出会いがあったからこそ、こんなに素晴らしい時を徳島で過ごせましたし、忘れられないかけがえのない思い出もたくさん作ることができました。私は本当にこんな素晴らしい、恵まれた環境で働けたことに感謝しています。幸せな気持ちと感謝の気持ちで胸がいっぱいです。3年間を振り返り、「本当に楽しかった」、「本当に徳島に来られて良かった」と心から思っています。3年間本当に、本当にお世話になりました。こんな私でしたが、優しくしていただき、そしてたくさんの笑顔をくださってありがとうございます。またいつか絶対徳島に遊びに来ます。Thank you so much for everything and I hope to see you all again someday soon!



着任あいさつ

ダラリン・イー

は

じめまして、そして Aloha ! このたび、英語圏の国際交流員として徳島県に参りました、ダラリン・イーと申します。ハワイ生まれハワイ育ちの中国系日系アメリカ人です。父は香港生まれ、ハワイ育ちで、母はハワイ生まれハワイ育ちの日系2世です。一番最近の来日は2014年でした。そのときは文部科学省を通して研修生として同志社大学に留学しました。

子供のときから日本について興味を持ち、自分のルーツについて詳しく知りたいと思い、日本語の授業を取り始めました。当時は趣味として楽しみたいという気分でしたので、実際に日本語を使おうとしませんでした。しかし、実際に来日して、日本語で様々な絆が作られ、どのように第二言語が必要かと習ってきました。日本語を勉強しはじめてから9年間が経ちました。日本語のおかげで、出会いが多く、とても充実した人生を送っています。

4回目の来日で、徳島は初めてですが、徳島には縁がある様な気がします。なぜかという私の好きな歌手は徳島出身のアンジェラ・アキです。そして、留学した時に、初めて食べたラーメンは徳島で有名なラーメン屋、東大のラーメンでした。さらに、大阪に旅行した時に、阿波踊りも見たことがあります。その時は国際交流員として徳島県に配属されるとは思っていませんでした。これからますます県民の方たちと触れ合い、徳島の魅力を体験することを本当に楽しみにしています。

まだ分からないことばかりですが、これからは国際交流員として、日本語と英語を通して、日本と世界中の国々との絆を作り、一生懸命頑張りたいと思います。もしどこかで出会ったら、ぜひお気軽にお声をおかけください。皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。



フランシスカ・ノイゲパワー

徳

島の皆さんはじめまして。8月に来日し、これから国際交流員としてこちらで仕事をさせていただくことになりました、フランシスカ・ノイゲパワーと申します。ぜひフランシと呼んで声をかけてください。ドイツ首都ベルリンの周りがあるブランデンブルク州の小さな村から参りました。2012年にハンブルグ大学の日本学科を卒業し、それからライプチヒ大学のマスタープログラムに入りました。そこの大学でも日本学を専攻し、2015年9月に卒業しました。その7年間のうちの1年半、神戸大学、また三重大学に研究生として留学しました。飛鳥時代の古墳、又日本における子どもの貧困、家族法等という現代社会問題について研究しました。異文化間能力と、英語能力を高めたく、卒業したすぐ後に6カ月間ニュージーランドで働き、その後日本に参りました。

旅行が趣味で色々な国を訪れ、たくさんの経験をしましたが、結局はいつも日本に帰ります。沖縄から北海道まで旅行したことがありますが、今回、4回目の来日で初めて徳島、又四国を訪問しました。近くにある神戸に住んだものの、淡路までしか行ったことはありませんでした。徳島に着いてから、それほど時間が経っていませんが、既に徳島県の美しい景色に魅了され、そして優しくて温かい人々と出会いました。

ドイツのニーダーザクセン州は徳島県と強い絆で結ばれていて、私はその関係をますます深くすることを望んでいます。ドイツの人々に日本、特に徳島は侍や寿司だけのイメージではなく、それより多くの素晴らしい文化があることを伝え、逆にドイツはビールやソーセージだけの国ではないとこちらの県民の方々に知ってもらいたいと思っています。私自身、まだ徳島のことについて詳しくありませんが、皆さんに色々と教えていただいて、徳島専門家になりたいと思っています。徳島県国際交流員として一生懸命努めてまいります。これからどうぞ宜しくお願いいたします。



平成28年度 後期 TOPIA 日本語教室 案内

※時 間：10：30～12：00 ※場 所：TOPIA 会議室

※テキスト：「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」（第2版）（2,700円／1冊 CD付き）
（自分で買ってください。）また、季節の行事や、徳島の生活についても、勉強していきます。

※受講料：無料

（この日本語教室は文化庁事業です）

曜日	先生		勉強の内容	はじまる日
火曜日	三 好	初級Ⅰ	＜みんなの日本語Ⅰ＞14課～ 動詞のいろいろな活用形、て形、ない形、辞書形などと、それを使った文型を勉強します。	10/4 (20回)
水曜日	ボラン ティア	グループ レッスン	レベルにあわせてグループをつくり勉強します。 *子どもといっしょに来る人は、となりの部屋に子どもをあずけることができます。 保育の先生が子どもと楽しく遊んでくれます。（予約してください）	10/5 (20回)
木曜日	山 田	初級 Ⅱ・Ⅲ	＜みんなの日本語Ⅱ＞26課～50課 可能、意向、命令、禁止、条件、理由、受身、使役、敬語表現など、いろいろな表現を勉強します。	9/22 (25回)
金曜日	青 木	入 門	＜みんなの日本語Ⅰ＞1課～ 日本語の基本的な表現をはじめから勉強します。	10/14 (20回)
日曜日	J T M	初級Ⅲ	＜みんなの日本語Ⅱ＞38課～ 理由、受身、使役、敬語表現などを勉強します。	10/2 (20回)
	ボラン ティア	グループ レッスン	レベルにあわせてグループをつくり勉強します。	

*グループでの勉強は、前日までに申しこんでください。（当日、急にきた場合、勉強できないことがあります）

またグループの数がかぎられているため、自分のレベルにあわないこともあります。

*休むときは電話連絡をしてください。

木曜日	木 村 森	特別入門	ひらがな・カタカナが読めない人、書けない人のクラス。あいいうえおの勉強と、あいさつ・かず・もののなまえなども勉強します。また、徳島のことについても勉強します。	いつでも はいます
-----	----------	------	---	--------------

*台風・大雨・大雪により急にクラスがおやすみになることがあります。わからない時は、電話をしてください。

★阿南市国際交流協会、藍住町国際交流協会、吉野川市国際交流協会、NPO法人美馬の里でも日本語教室を開催しています。

地域日本語指導ボランティア養成講座 in 阿南

～外国人の方に日本語を教える HOW TO を一緒に勉強しませんか？

- 日 程：前期 青木 洋子先生 10月15・29日 11月12・19・26日
後期 山田多佳子先生 1月14・21・28日 2月18・25日
- 場 所：阿南市富岡公民館1階小会議室（受講人数により開催場所を変更する場合があります）
- 受講料：無料（要テキスト購入）
- 主 催：阿南市国際交流協会（この事業は文化庁事業です）
- 時 間：10：00～16：00

美波町で「地域日本語教育スタートアッププログラム」が始まります！

～あなたも、いっしょに日本語支援の活動をしませんか？～

現在、徳島県の南部地域には在住外国人の方を対象にした日本語教室やサロンがありません。その現状を踏まえ、この度、美波町を中心に、文化庁が進める「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の立ち上げに向けて活動が始まります。美波町や徳島市内で行われる勉強会等に参加したい方、ボランティアをしたい方、詳細は下記までお気軽にご連絡ください。

- 連 絡 先：ゲルツ三隅友子（徳島大学 教授）：misumi@tokushima-u.ac.jp
- 問い合わせ件名：「生活者としての外国人」日本語教育事業（メールには件名を必ずご記入ください）

外国人のための自動車運転免許取得支援講座

～日本の交通ルールを学び、運転免許を取って仕事や子育てに役立てよう！～

読解力を高める日本語講座（全27回） 9月27日～ 毎週火曜日＆金曜日 10：30～12：00
学 科 対 策 講 座（全14回） 10月5日～ 毎週水曜日 9：30～12：30

- 場 所：わーくびあ徳島2階
- 定 員：12名
- 受講料：無料（要テキスト購入）
- 主 催：（公財）徳島県労働者福祉協議会 TEL：088-625-8387

★これらの講座の詳細は、TOPIA ホームページをご覧ください

JICAボランティアOBによる地域貢献活動 ～福島・熊本と徳島の高校生の架け橋に～



JICAでは1965年より50年以上にわたり、世界88カ国へ、延べ40,000人以上のボランティアを派遣してきました。このボランティア事業の目的の一つに「国際的視野の涵養とボランティア経験の社会還元」があります。今回は徳島県で実施されたボランティアOBによる活動を紹介します。

東日本大震災及び熊本地震の復興支援・交流事業として、徳島県出身・在住の青年海外協力隊/シニア海外ボランティアOBで構成される徳島県青年海外協力協会が、徳島県上勝町で「徳島サマーキャンプ」を4泊5日の日程で実施しました。5回目の開催となった今年は、福島県の高校生25名に加え、熊本県の高校生12名が参加しました。



上勝町の自然に囲まれた環境の中で、世界中に派遣されていたJICAボランティアOBの体験談や、徳島在住の外国人講師を招いた国際交流などを行いました。また、徳島県内の高校生や、地元上勝町の中学生らも参加し、上勝町の棚田地域の散策や「やまびこ体験」などを通して同世代間での交流を深めました。参加した高校生は5日間の活動の中で友情も芽生え、最終日には「また、会える日まで。」と別れを惜しんでいました。



シネマ上映会& JICA ボランティア秋募集説明会 開催のお知らせ

映画「わたしはマララ」無料上映

“ふつう”の女の子が、世界を変えようとしている。

なぜ彼女は17歳でノーベル平和賞を受賞したのか？タリバンに撃たれても、本気で世界を変えようとしている少女と、家族の絆の物語。

日 時：10月16日（日）13：00～17：00

場 所：とくぎんトモニプラザ大会議室

プログラム内容（予定）：シネマ上映会「わたしはマララ」（映画のみもOK!!）
海外ボランティア体験談・募集説明会・個別相談会

入場無料
予約不要

イスラム地域のミニ
写真展や飲み物体験
も予定しています！

お 問 合 せ

JICA 徳島デスク (TOPIA 内) 上西

電 話：088-656-3303

メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

URL：http://www.jica.go.jp/shikoku/



「とくしま外国人支援ネットワーク会員」 募 集 中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめとする、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による多言語電話 相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しています。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もごさいます。是非、ご活用ください。

受付時間：平日 10:00～18:00

TEL：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合もありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口 3,000 円 / 年度

団体会員 一口 5,000 円 / 年度

詳細は当協会まで。資料をお送りします。

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

楽しく、愉快地に多文化交流 & 異文化理解！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流事業などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

「多文化共生の社会づくり」 パネルを貸し出します

あいぽーと徳島と当協会では、外国人の方の人權にスポットをあてた人權啓発パネルを作成しています。講演会や研修会などの際に、このパネルと一緒に展示しませんか？無料貸出しいたします。当協会にお申し込みください。



在住外国人の方対象の「防災出前講座」を ご活用ください！

当協会では、近年危惧されている南海トラフの巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。

* 申込は当協会まで。



防災出前講座の様子

問い合わせ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61
クレメントプラザ 6F

Tel : 088-656-3303

Fax : 088-652-0616

URL : <http://www.topia.ne.jp>

Email : topia@topia.ne.jp